



再就職セミナーの講師をしていると、受講生の方々が口をそろえて最初に言われるのが、「年齢制限」である。募集要項を見ているも、まず年齢制限に引っかけたって応募すらできないと嘆かれる。本当に仕事に年齢制限があるのだろうか？

力仕事など特殊な仕事以外に、年齢や性別や学歴は

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

再・就職活動は即戦力で勝負

正直関係ない。景気はいまだ悪く失業率が高い割に離職率も高く、そのうえ世の中の変動が激しいので、企業はこれまでのように新卒から長期計画で育成していくことができなくなっている。そうなる年齢などの

れば、それをアピールできる具体的な売り込み内容を履歴書に添付すればいい。ここで勘違いされる方が多いので一言。経験や気力だけでは駄目だ。たとえば「コンピューターはやったことがありませんが、がんば

れば自分自身にも身につけてもらえない。目で見て手取り早く理解できるものとして「資格」である。資格は現在多少氾濫気味である。しっかりと見極めて取得し、幅広く取得するより、できるだけ上級を取得をす

れやライバル会社との競争に敗れ所属部署が廃止になるかもしれない。会社にいられなくても、絶えず技能向上をしていかないと、リストラ対象になってしまいう可能性もある。IT化の急速な普及で合理化が進み、景気が回復しても雇用は戻らないと言われてい

条件は関係なく即戦力としてすぐに活用できる人材が必要となっている。年齢制限などの条件は単に効率のよい採用を行うためである。だから条件は気にせず、自分が募集要項に応えられる戦力を持ってい

「コンピューターはできません！」「コンピューターができません！」では、相手には何が即戦力なのか伝わらない。コンピューターの何ができて、応募先の会社とどんなメリット(利益)が提供できるのかを採用担当者にわかるように履

き、他の応募者との差別化ができる。今後は、たとえ就職できても企業の先行きは混沌としているので、どうなるかわからない。突然倒産するかもしれないし、時代の流

自分の得意分野を伸ばし、会社に「就社」ではなく、職種を絞って「就職」を目指してあげれば、再就職活動も不安でなくなる。企業が必要としている即戦力に向けて取り組んでみよう！